

里の子守歌

2021年

採集: 船津富彦

作曲: 鳩ヶ谷ウクレレクラブ

♩ = 85



1.ねん ねん ころりよ ねん ころり
2.じゅう り じゃ ちかい もんだ いて み た い



ぼう や の ー こ も り は えど に い っ た
えー ど で は ち ん ち ん ち ん ち り めん



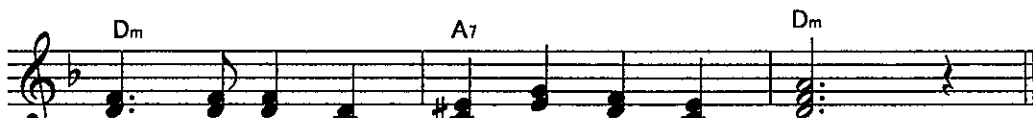
え ど へ い く に は な ん り あ る
どん す の お び に ー き は ち じょ う



い っ た り き た り で じゅ う り あ る
い ち ど で い い か ら み た い も の



ねん ねん ころりよ ねん ころり ねん ねん



こ ろ り よ ね ん ころり

里の子守歌

2021年

採集：船津富彦

作曲：鳩ヶ谷ウクレレクラブ

一番 ねんねん ころりよ ねんころり
(坊やの子守は どこへ行った)
坊やの子守は 江戸へ行った
江戸に行くには 何里ある
往ったり 来たりで 十里ある

二番 十里じゃ 近いもんだ 行ってみたい
江戸では ちんちん ちん 縮緬(ちりめん)
緞子(どんす)の帯に 黄八丈(きはちじょう)
一度でいいから 見たいもの
ねんねん ころりよ ねんねしな

説明① 『郷土 はとがや』一鳩ヶ谷郷土史会会報一 1982年 5月15日 発行

江戸時代に里村で歌われた幻の子守より

文中には、船津富彦さんが、1981年に、70過ぎのお姉さんに昔の鳩ヶ谷町における娯楽について話を聞いていたときに、歌ってくれた子守歌とある。

説明② 歌詞にある、『往ったり、来たりで十里ある』の一里塚は、吹上橋より北側に位置しており、一里塚の杭が立っている。

日本橋を起点に、(1) 中山道の本郷追分(看板のみ・東京大学農学部正門前)

(2) 日光御成道の西ヶ原(現存・滝野川警察署前)

(3) 日光御成道の稲村(現存せず・東京都北区赤羽西当たり)

(4) 日光御成道の元郷(石碑のみ・川口市末広一丁目)

(5) 日光御成道の本町一丁目(現存・吹上橋北)

*尚、吹上橋の正確な由来は定かではないが、伝承では吹上橋のたもとに、かつては水が吹き出るいどがあり、その水を使いお酒をつくる酒屋があった。

水が出すぎるので、石を投げ込んだら、水が枯れてしまい、酒屋も廃業した。

その、吹上井戸にちなんで、『吹上橋』の名がついた。

説明③ 縮緬：絹を平織りにして作った織物の事

緞子：緞子は、模様がはっきりした緞子(しゅす)織り

黄八丈：八丈島に伝わる草木染めの絹織物。

島に自生する植物の煮汁で黄色、褐色、黒に染められた糸を平織りまたは綾織りに織り、縮模様や格子模様を作ったもの。